

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

| | |
|----------|------|
| * 科目 No. | 2908 |
|----------|------|

科目概要記入欄

| | | | | | |
|------------------|--|---------|------|--------------------|-----|
| 1. 開設大学 | 島根県立大学 | | 開催方法 | ■対面（ 浜田キャンパス ） | |
| | | | | □オンライン（同時・録画・資料提示） | |
| | | | | □その他（ ） | |
| | 2. 正式科目名 副題 | 企業会計 | | 配当年次 | 2・3 |
| | | | 受入学年 | | |
| 学問分野 | 番号 | 24 | 名称 | 社会科学系 商学・経営 | |
| 3. 担当教員名 | 池村 恵一 | | | | |
| 4. 単位数 | 2単位 | 5. 開講学期 | 前期集中 | | |
| 6. 開講期間 曜日・時間 | 2023年 9月 5日（火）～ 2023年 9月 8日（金） 9:00 ～ 16:20 | | | | |
| 7. 基礎知識の有無 | ・「基礎知識を必要としない科目」 | | | | |
| 8. 募集人数 | 5人 | 9. 選考方法 | 書類選考 | | |

| | | | |
|---------------|---|---|---|
| 10. 科目内容・授業計画 | <p>会計は、企業経営にとどまらず、国や地方自治体などの公的部門においても、行政のアカウントビリティ（説明責任）の向上やディスクロージャー（現状、活動内容、活動成果などに開する情報の開示）の充実を図る目的で重要な役割を果たしているといえます。会計は、企業や公的部門の組織の活動にかかわる重要なコミュニケーション・ツールとされています。学生諸君が卒業後どのような職業に就いても、会計の基本的な知識は、語学・IT とならび重要な役割を果たすことが期待されます。</p> <p>会計学は、簿記、財務会計、原価計算、管理会計、経営分析、会計監査、国際会計、税務会計、公会計、NPO 会計など多岐にわたる領域を含んでいます。この授業では、とくに企業会計と位置付けられる財務会計を学び、そのあとで会計学の諸領域に広く目を向け、現代会計の基礎的な知識を修得していきます。</p> <p>*会計学を初めて学ぶ学生向けに、簿記の説明にも十分時間をとります。簿記を学ぶことで会計の意義をよく理解することができます。また、この授業を履修した後に基盤科目「会計学」を履修されると、「会計」についてより効率的に学習することができます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の会計制度の全体的な構造を自己の言葉で説明できる。 ・会計学の諸領域に関する基礎知識を自己の言葉で説明できる。 <p>第1回 ガイダンス-会計とはなにか （キーワード） 会計情報のディスクロージャー、アカウントビリティ</p> <p>第2回 歴史からみる会計学・簿記 （キーワード） 複式簿記の歴史</p> <p>第3回 基本財務諸表 （キーワード） 貸借対照表と損益計算書</p> <p>第4回 複式簿記① （キーワード） 財産法と損益法</p> <p>第5回 複式簿記② （キーワード） 取引と仕訳</p> <p>第6回 制度会計 （キーワード） 金融商品取引法会計、会社法会計、税法会計、トライアングル体制</p> <p>第7回 決算書の情報を分析する （キーワード） 財務諸表、経営分析</p> <p>第8回 決算書の情報を分析する（演習） （キーワード） 有価証券報告書のダウンロード、分析指標の計算</p> <p>第9回 会社の支払う税金① （キーワード） 税務（税法）会計、確定決算主義、所得金額の計算</p> <p>第10回 会社の支払う税金② （キーワード） 益金と損金、法人税額の計算</p> <p>第11回 監査① （キーワード） 財務諸表監査、監査人（公認会計士・監査法人）</p> <p>第12回 監査② （キーワード） 財務諸表の虚偽表示、会計監査の進め方、監査報告書</p> <p>第13回 会計に関する職業・資格試験</p> <p>第14回 プレゼンテーション①</p> <p>第15回 プレゼンテーション②</p> <p>**以上の授業計画については、若干の変更・修正の可能性があります。</p> | | |
| 11. 試験・評価方法 | <p>成績評価対象：授業毎の課題提出 40%、試験 60%、プレゼンテーション 20%</p> <p>*授業の進行状況によってプレゼンテーションを実施できない場合があります。</p> | | |
| 12. 別途負担費用 | <p>教科書は指定しません。レジュメ、関係資料等を集中講義初日に配布します。</p> | | |
| 13. その他特記事項 | <p>【参考文献】</p> <p>新井清光・川村義則、『新版 現代会計学〔第3版〕』中央経済社、定価：2,640円</p> <p>*授業ではテキストを要約したレジュメを配付します。</p> <p>**購入する場合は最新版のものを購入してください。</p> | | |
| 14. 社会人受講 | 科目等履修生（単位付与）として受け入れ | 可 | ☒ |
| | 聴講生（単位認定不要）として受け入れ | 可 | ☒ |

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。